

◆平成 29 年度事業報告◆

〔第一号議案〕

平成 29 年度事業経過報告について

宮臨技会員が 1000 名を越え、より会員の繋がりが持てるよう、会員の利益となるよう活動した。新規入職者向けに接遇に関してのベーシックセミナーも前年度に引き続き行った。

学術部門では精度管理部門との一体化を推進するため、各担当理事での情報共有を進めてきた。精度管理事業は例年通り宮城県内の医療機関・検査機関へ試料を配布し調査を実施し報告会を行った。

7 月 15 日には第 49 回みやぎ医学検査学会を仙台市で開催し、各部門からの発表など活発な意見交換がなされた。また、各学術部門の研修会も数多く企画され、会員の学術的向上に繋がった。

公益事業は、昨年引き続き HIV 検診、県内自治体や関連団体主催の健康イベント等へ積極的に参加した。「検査と健康展」の開催は、放射線技師会とのコラボレーションを考え、乳腺エコー、マンモグラフィに関する講演を一般市民の方々に聞いていただきやすいよう配慮した企画を行った。臨床検査技師を知っていただく良い機会であること、そして検査説明の良いトレーニングとなること等から、多くの会員の参加協力をお願いした。

宮臨技は平成 30 年に創立 75 周年及び法人化 30 年を迎えた。これまでの歴史を会員の皆様とともに確認し、今後に繋げていく事を考え、創立 75 周年及び法人化 30 周年記念式典を開催した。宮城県・仙台市各行政の長の祝辞を頂戴し、各医師会の会長、副会長、歴代の会長や、尽力された諸先輩そして会員、賛助会員の皆様、関係各位の多くの皆様方のご臨席の元、盛会裏に終了した。

平成 29 年 11 月現在の宮臨技会員の名簿作成をおこなった。

【総務部】

1. 総務・法規・組織

- 1) 会務の執行体制は、7 部門（学術部、精度管理部、広報部、総務部、会計部、公益事業推進部、事務局）で行なった。
- 2) 移行法人（公益目的支出計画実施中の一般社団法人）として、公益目的支出計画実施報告書などの定期提出書類の作成を行なった。
- 3) 宮城県技師会「会員名簿」の作成を行なった。

2. 各種表彰

- 1) 青木賞（第 49 回みやぎ医学検査学会奨励賞）

第 49 回みやぎ医学検査学会にて発表された一般演題から選考をおこない、村山優里香 会員（東北大学病院）に決定した。

【事務局】

1. 事務局運営について

- 1) 第 49 回みやぎ医学検査学会を開催した。会員のご尽力のお陰で、大盛況のもと、幕を下ろすことが出来た。
- 2) ホームページ更新については各部門と連携を図り、常に迅速な更新、最新の情報を提供できるよう努めた。災害安否確認システムについても引き続き会員の登録を募集し、災害時の連絡以外にも定期的な連絡ツールとしての活用を検討した。

2. 平成 29 年度の各種開催会議

- 1) 平成 29 度 定時総会 平成 29 年 6 月 10 日 (土) 仙台市急患センター 2F ホール
- 2) 理事会 7 回
- 3) その他 三役会議 2 回
- 4) 創立 75 周年・法人化 30 周年記念式典実行委員会 4 回

3. 生涯教育研修事業 (資料 1、2)

学術部開催研修会や各種共催研修会に多くの会員が参加し、スキルアップが図られた。宮城県臨床検査技師会としての登録対象は 91 件であり、前年度登録の 97 件から微減したが、研修会は 43 件 (前年度 35 件) と増加し、特に、生理分野は 12 行事、延べ 644 名と多くの会員が参加した。しかし、公衆衛生、情報システム、チーム医療の行事登録がなく今後の課題である。一方、遺伝子・染色体部門の行事は昨年度 1 行事、今年度は 3 行事開催されており、ニーズの高まりを感じた。延べ登録者は 2200 名と昨年度から 222 名増加しているが、会員数から比較するとまだまだ少ない状況にある。会員にはより多くの参加を望みたい。

4. 平成 29 年宮城県文化の日表彰について

日時：平成 29 年 10 月 31 日 (火) 午後 2 時～3 時

会場：東京エレクトロンホール宮城 大ホール

出席：大森、大場

平成 29 年宮城県文化の日表彰の保健衛生功劳区分において、当一般社団法人宮城県臨床検査技師会が、多年にわたり医療団体として組織の育成、地域医療の充実と保健衛生の向上に寄与したことが認められ表彰され 10 月 31 日表彰式が執り行われ出席した。

5. 創立 75 周年並びに法人化 30 周年記念式典・祝賀会について

今期の理事・監事が実行委員となり企画・運営を行った。1 月 20 日土曜日、ホテル法華クラブにおいて記念式典、祝賀会を挙行了した。

式典に先立ち、記念講演は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会宮島喜文会長より「日臨技会長が描く臨床検査の未来予想図」と題して講演いただいた。

式典では、宮城県知事、仙台市長を始め、宮城県医師会櫻井副会長、仙台市医師会永井会長、そして日臨技宮島会長からご祝辞をいただき、また多くの方々からお祝いの言葉をいただいた。

理事として 10 年以上ご活躍いただき 60 歳を超えられた先輩方々に表彰状の授与を、賛助会員の方々には感謝状を贈呈した。

142 名の参加をいただき、仙台市救急医療事業団理事長の今井先生の御発声による乾杯の後、会員がメンバーでもある弦楽四重奏のアトラクションなど、思い出に残る祝賀会となった。

【公益事業部】（資料3、4）

1. 日臨技主催、宮臨技実施事業

検査と健康展

第4回を迎えた今年度は、イオンモール名取にておよそ30名の実務委員と日本臨床検査専門医会より派遣された2名の医師によって開催された。例年同様、検査体験とその説明が行われたが、今回は新企画として、新人技師による就職相談コーナーの設置も試みた。そこでは現役学生だけでなく、そのご両親等も興味深く耳を傾けている様子が見受けられた。

2. 関連団体支援事業

- 1) HIV支援事業として参画している年2回、県内7保健所と塩釜保健所管内の岩沼支所と黒川支所、そして青葉区保健福祉センターでのHIV迅速検査会への協力を行った。また、石巻保健所、気仙沼保健所で毎月実施されるHIV迅速検査会への協力も継続して行った。
- 2) 全国規模で実施されているピンクリボン運動に例年通り協力した。スマイルウォーク当日は勾当台公園イベントブースにて「乳がんエコーを見てみよう」コーナーを実施し、臨床検査の啓蒙、啓発を行った。
- 3) 自治体や関連団体主催の健康イベントに参加した。大崎市、白石市、仙台市秋保総合支所の健康福祉まつりなどで、頸部血管エコー検査、指尖容積脈波、CAVIによる血管年齢の推定を行った。
- 4) 「国民健康栄養調査」における血液検体の取り扱いに関しては、今年度は栗原市と気仙沼市からの依頼があり、採血検体処理業務等を担当した。

【学術部】（公益目的支出計画事業）

1. 第49回みやぎ医学検査学会

第49回みやぎ医学検査学会は、東北医科薬科大学病院の泉義彦会員を学会長とし、平成29年7月15日(土)、仙台ガーデンパレスを会場に開催した。テーマを「高齢化社会を迎え討つ検査室」とし、一般演題23題、ランチョンセミナー2題、パネルディスカッション1題、教育講演1題、特別講演1題がおこなわれた。参加者数会員201名で非会員等を合わせると282名の参加者数だった。多くの参加者に恵まれ、盛況のうちに無事終了した。

2. 研修会・講習会等（資料5、6）

宮城県臨床検査技師会学術部は、会員の知識向上と検査技術のレベルアップを目的に研修会の企画・運営を行ってきた。開催数は主催27件、共催16件であった。主催研修会への総参加者数はのべ1683名。内訳は会員87.7%（1477名）、非会員3.0%（52名）、学生0.5%（10名）、賛助会員8.5%（144名）であった。開催場所は仙台市が24件、大崎市2件、大河原町1件と仙台市内の開催が多かった。分野別にみると、生理部門5件、生物化学部門3件、病理部門1件、細胞部門2件、血液部門3件、輸血部門1件、一般部門1件、微生物部門1件、遺伝子・染色体部門3件、総合部門3件、教育・管理運営4件で、生涯教育点数別には専門課程が20件、基礎課程が7件であった。研修会の内容別にみると、ほとんどが講演形式だったが、ライブ形式も行われていた。また宮臨技精度管理調査結果を反映し、更なるアドバイ

スと補習を兼ねた研修会も行われた。他団体との共催研修会も例年同様実施した。今年度の研修会・講習会の開催数と参加人数は昨年より多く、活発に活動が出来た。

【精度管理部】（公益目的支出計画事業）

1. 精度管理事業

平成 29 年度実施業務の内容

以下の通り平成 29 年度の精度管理調査を実施した。

○実施日程

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| (1) 申込み締め切り日 | 平成 29 年 7 月 18 日（火）Web でのみ受付 |
| (2) 試料発送日 | 平成 29 年 10 月 9 日（月）発送日翌日到着 |
| (3) 回答締め切り日 | 平成 29 年 10 月 22 日（日）24 時まで Web でのみ受付 |
| (4) 解析結果閲覧開始日 | 平成 29 年 11 月 26 日（日） |
| (5) 全体報告書発行 | 平成 30 年 2 月下旬、参加施設へ送付済 |
| (6) 精度管理報告会 | 平成 30 年 3 月 10 日（土）14 時～17 時 |

○調査項目

臨床化学：AST,ALT,LD,ALP, γ GTP,CK,Na,K,Cl,Glu,TG,HDL-C,LDL-C,TC,CRE,UN,UA,
AMY,ChE,Ca,ALB,TP,TBIL,IP,Fe,CRP, HbA1c の 27 項目

血液：CBC（WBC,RBC,HGB,HCT,PLT,MCV,MCH,MCHC の 8 項目）および画像サーベイ
一般：静止画像サーベイ（尿沈渣等）

微生物：感染症原因菌の同定、感受性試験、画像サーベイ

輸血：ABO 式、RhD 式血液型検査

生理：静止・動画画像サーベイ（心電図、心臓超音波、腹部超音波）

病理：未染色標本による染色サーベイ

細胞診：静止画像サーベイ

○参加施設

臨床化学 123、血液 126、尿一般 102、微生物 34、輸血 74、生理 93、
病理 21、細胞診 24、回収施設総数 140。詳細は報告書を参照下さい。

2. データ標準化事業

臨床検査値は健康状態の把握や疾病の診断・治療に関する客観的指標であり、重要な医療情報である。医療現場での患者はもとより医師をはじめとする医療従事者は、検査室から報告される検査値は、常に正確で、しかも他の施設の検査値とも同等に比較できるものと考えられている。測定法の標準化、正確性の確認を目的として、国内的にコンセンサスがとれた常用参照標準物質や実用標準物質などの整備がすすめられてきた。日臨技は他団体と共同で「信頼される検査室」の指標として、「精度保証認証施設」の認証をおこなっており、精度管理調査と標準化事業の両事業への 2 年以上の継続参加が必須条件となっている。

是非、以上の主旨をご理解いただき宮臨技の標準化事業にご協力をお願いしたい。

内部精度管理データの報告（登録）は、日臨技 Web に各施設が登録する方法に変更されているが、宮城県のデータ登録数は減少している。入力締め切が 12 月 31 日であることから、内部精度管理データ入力の先延ばしによる入力し忘れが原因の一端と考えられるが、手引書にも掲載してあるように宮臨技精度管理設問の回答前に終えてもらいたい。

3. 精度保証施設認証

平成 23 年度から宮臨技精度管理調査の項目数は、精度保証施設認証制度の基準を満たしたので、「一般施設認証」を行うことが可能となった。

一昨年からは申請書類を直接日臨技に送るようになった。日臨技サーベイの「適」書は JAMTQC システムからダウンロード可能である。現在宮城県の認証施設は 12 施設であるが全国的にみると多いとは言えない状況である。県内での申請可能な施設は 55 施設ある。今後は精度保証施設認証の意義を広める活動にも力を入れていきたい。

○平成 29 年度審査日程は次のとおりだった。

日臨技 申請受付期間	平成29年10月 2日（月）～11月30日（木）
精度保証認証委員会審査期間	平成29年12月 1日（金）～12月27日（水）
執行理事・理事会審議、承認	平成30年 1月上旬～2月上旬
承認通知、認証料請求書発送	平成30年 2月中旬～ 2月下旬
認証書発送	平成 30 年 3 月下旬予定

【広報部】

1. 広報事業

ホームページ、ニュースみやぎの発行を通して、技師会活動の情報提供を行った。「ニュースみやぎ」はNo94号を発行し、理事会・研修会・公益事業活動等の情報提供を行った。ホームページに関してはレイアウトの再編成も含め運用の検討を関係部門と行い、技師会活動の啓蒙や会員に有用な情報提供ができるよう努めた。継続して、会員の教育や学術的な活用の検討、会員連絡や公益事業協力者募集などに利用できるよう進めた。

【会計部】

1. 会員管理

平成30年3月末日現在の会員数は1065名、賛助会員は43社であった。
3月27日にH30年度会費998名分が日臨技より送金された。

2. 会計処理

公益法人会計基準に則して処理を行った。主な会計方針については【財務諸表に対する注記】を参照していただきたい。

資料 1. 宮城県臨床検査技師会主催・共催行事登録

分野	行事登録数	会員合計(人)
微生物	6	149
免疫血清	1	35
血液	5	207
臨床化学	2	76
病理	2	57
細胞	2	33
生理	12	644
一般	1	48
公衆衛生	0	0
輸血	1	30
情報システム	0	0
遺伝子、染色体	3	117
管理運営	3	137
教育	6	308
チーム医療	0	0
学会	1	201
総会	1	64
公開講演	0	0
公益事業	45	94
その他	0	0
計	91	2200

資料 2. 宮城県臨床検査技師会後援行事登録

行事名	開催日・開催期間	登録者数
HIV 迅速検査	2017/4~2018/3	20
平成 29 年度 HIV 検査普及週間	2017/6/1~6/13	8
平成 29 年度大崎市健康と福祉のつどい	2017/10/21	9
平成 29 年度ピンクリボン街頭キャンペーン	2017/10/1	3
白石市健康福祉まつり	2017/11/3	6
平成 28 年度ピンクリボンスマイルウォーク	2017/10/28	3
平成 29 年度まつりだ秋保	2017/10/29	2
2017 年度「検査と健康展」	2017/11/11	32
H29 年国民健康・栄養調査	2017/11/7・9	2
平成 29 年度「世界エイズデー」	2017/11/29~12/11	9

資料3. 公益事業活動

行事名	開催日	開催場所	参加者数	協力施設
ピンクリボンフェスティバル 2017 オープニングセレモニー &街頭キャンペーン	2017/10/1	仙台市 ガスサロン前 &仙台駅西口	3	東北労災病院 光ヶ丘スペルマン病院 仙塩総合病院
ピンクリボンフェスティバル 2017 スマイルウォーク 2017 仙台	2017/10/28	仙台市 勾当台公園	3	公立刈田総合病院 東北労災病院 仙塩総合病院
第12回 大崎市健康と福祉のつどい	2017/10/21	大崎市 古川保健福祉 プラザ	9	大崎市民病院 東北大学病院 石巻市立病院 仙台市立病院
第9回 白石市健康福祉まつり	2017/11/3	白石市 ホワイトキュー ープ	6	公立刈田総合病院 総合南東北病院 東北労災病院 東北大学病院 仙台市立病院 仙塩総合病院
平成29年度 「まつりだ秋保 2017」	2017/10/29	仙台市 秋保総合支所	2	仙台市立病院 仙塩総合病院
平成29年度 全国「検査と健康展」	2017/11/11	イオンモール 名取	32	東北大学病院 JCHO 仙台病院 大崎市立病院 仙台市立病院 仙台厚生病院 坂総合クリニック 石巻赤十字病院 東北医科薬科大学病院 東北労災病院 総合南東北病院 仙台オープン病院 光ヶ丘スペルマン病院 公立刈田総合病院 県立がんセンター 塩釜医師会検査センター 仙塩総合病院
平成29年国民健康栄養調査	2017/11/7	気仙沼保健所	1	東北大学病院
	2017/11/9	栗原保健所	1	栗原中央病院

資料4. HIV 支援事業

行事名	開催日/ 開催期間	開催場所	参加者 数	協力施設
「HIV 検査普及週間」 仙台市エイズ・梅毒即 日検査会	2017/6/3	青葉区保険福祉センター	1	仙台オープン病院
平成 29 年度 「HIV 検査普及週間」に 係る県保健所 HIV 迅速 検査	2017/6/1	登米保健所	1	登米市民病院
	2017/6/6	気仙沼保健所	1	気仙沼市立病院
	2017/6/6	塩釜保健所岩沼支所	1	総合南東北病院
	2017/6/6	石巻保健所	1	南郷病院
	2017/6/6	仙南保健所	1	JCHO 仙台南病院
	2017/6/8	塩釜保健所黒川支所	1	東北大学病院
	2017/6/12	大崎保健所	1	大崎市民病院
	2017/6/13	栗原保健所	1	栗原市立栗原中央病院
2017/6/20	石巻保健所	1	南郷病院	
「世界エイズデー」 仙台市エイズ・梅毒即 日検査会	2017/12/2	青葉区保険福祉センター	2	東北大学病院 仙台オープン病院
平成 29 年度 「世界エイズデー」に 係る県保健所 HIV 迅速 検査	2017/11/29	塩釜保健所	1	坂総合クリニック
	2017/11/29	気仙沼保健所	1	気仙沼市立病院
	2017/11/30	栗原保健所	1	登米市民病院
	2017/11/30	登米保健所	1	登米市民病院
	2017/12/2	石巻保健所	1	南郷病院
	2017/12/5	塩釜保健所岩沼支所	1	総合南東北病院
	2017/12/5	仙南保健所	1	公立刈田総合病院
2017/12/11	大崎保健所	1	大崎市民病院	
石巻保健所 HIV 迅速検 査 (月 2 回)	2017/4~ 2018/3	石巻保健所	各 1 名	東北大学病院 南郷病院 大崎市民病院 石巻赤十字病院 仙台赤十字病院 東北労災病院
気仙沼保健所迅速検査 (月 1 回)	2017/4~ 2018/3	気仙沼保健所	各 1 名	気仙沼市立病院

資料 5. 共催研修会

平成 29 年度 共催研修会

開催日時	行事名	会員参加数
2017/05/19	第 3 回宮城臨床血液セミナー	39
2017/07/29	宮城超音波倶楽部 超音波検査士工学基礎対策編	37
2017/07/29	第 9 回東北頸動脈研究会	14
2017/08/05	肝疾患の検査と治療 ～HCV の検査・診断・治療について～	39
2017/08/19	僧帽弁を診る！第 6 回 Global Echo セミナー	94
2017/09/29	第 7 回宮城医療安全研究会	8
2017/09/30	第 5 回 感染症診断フォーラム -東北-	42
2017/11/11	第 2 3 回 東北院内感染対策研究会	14
2017/11/26	絶対わかる！心電図の学び方～One Day ECG Seminar～	9
2017/12/02	第 7 回 東北病理技術研修会	97
2018/01/27	第 17 回東北臨床感染症研究会	28
2018/02/07	肝疾患の検査と治療	21
2018/02/17	第 23 回東北感染症研究会	12
2018/02/25	第 11 回日本 PSG 研究会東北支部例会	23
2018/03/10	第 3 回宮城県検査から診断・治療を考える会	9
2018/03/24	肝細胞癌・VTE 研修会～癌の診断から VTE 治療まで～	58

資料 6. 学術部主催研修会

平成 29 年度宮城県臨床検査技師会主催研修会一覧

開催日時	行事名	開催場所	会員参加数
2017/04/01	第 3 回 宮臨技 学術部 微生物部門研修会	仙台市立病院 会議室	39
2017/04/22	輸血検査部門研修会「フォローアップ研修会」	東北労災病院 会議室	31
2017/04/23	細胞診 精度管理フォローアップ研修会	東北大学病院 病理部 討論室	20
2017/04/29	医師が求める心電図の判読と最新治療	東北大学医学部 星陵会館 2 階 星陵オーデトリウム	148
2017/05/13	平成 28 年度病理組織検査精度管理調査報告・検討・サイトケラチンについて解説	東北大学医学部 臨床小講堂	29
2017/06/03	遺伝子検査を身近に感じよう！	東北大学医学部 臨床小講堂	43
2017/06/10	宮城県臨床検査技師会研修会	仙台市急患センター 2F ホール	76

2017/06/24	血液部門研修会「日当直検査に備えて～基礎編」	東北大学医学部保健学科 大講義室	64
2017/06/25	一般検査部門 H28 年度精度管理フォローアップ研修会	東北大学医学部保健学科 第一講義室	49
2017/07/29	コミュニケーション力を研ぐ	仙台市急患センター 2F ホール	28
2017/09/23	血液部門研修会「末梢血液像の見方～ホップ・ステップ・ジャンプ～」	東北大学医学部保健学科 大講義室	51
2017/10/07	生理検査部門研修会「ライブレクチャーと症例で学ぶ呼吸機能診療」	仙台厚生病院 管理棟 1 階 熊谷・海老名ホール	82
2017/10/21	生物化学分析部門研修会 外部精度管理を活用するための基礎知識	東北大学医学部保健学科 大講義室	39
2017/10/28	遺伝子検査部門研修会	東北大学医学部 臨床小講堂	41
2017/11/03	生理検査部門研修会 不整脈を学ぶ	東北大学医学部 星陵会館 (厚生会館・学生食堂) 2 階	160
2017/11/23	生理検査部門研修会 成人先天性心疾患 (ACHD) を心エコー図検査で攻略	みやぎ県南中核病院 2 階 講堂	58
2017/11/25	病理細胞診部門 細胞検査士資格認定試験二次試験対策研修会	宮城県対がん協会がん検診センター	14
2017/12/16	血液部門・一般検査部門合同研修会	東北大学医学部 臨床中講堂	53
2017/12/17	「平成 29 年度 初級・職能開発講習会」	仙台市立病院 本院 3 階 第 2 会議室	38
2018/01/13	生物化学分析部門研修会 免疫血清検査の基礎とピットフォール	東北大学病院 臨床中講堂	35
2018/01/20	創立 75 周年・法人化 30 周年記念式典 講演会	ホテル法華クラブ仙台 ハー モニーホール	58
2018/01/27	総合部門研修会 認定ガイダンス～キャリアアップを目指して～	大崎市民病院 3 階会議室	41
2018/02/03	生理検査部門研修会「デモンストレーションで学ぶ脳死判定」	仙台厚生病院 管理棟 1 階 熊谷・海老名ホール	66
2018/02/17	遺伝子・染色体部門・病理部門合同	東北大学医学部 臨床中講堂	42
2018/02/24	生物化学分析部門研修会 「生化学検査担当者に求められるスキル」	東北大学医学部 臨床講義棟 2F 臨床中講堂	44
2018/03/10	平成 29 年度宮臨技精度管理研修会	仙台市医師会館・仙台市急患 センター 2F ホール	85

2018/03/17	臨床検査総合部門研修会 「認定取得ガイダンスⅡ～スキルとキャリアアップを目指して～」	大崎市民病院 3 階会議室	43
------------	--	---------------	----